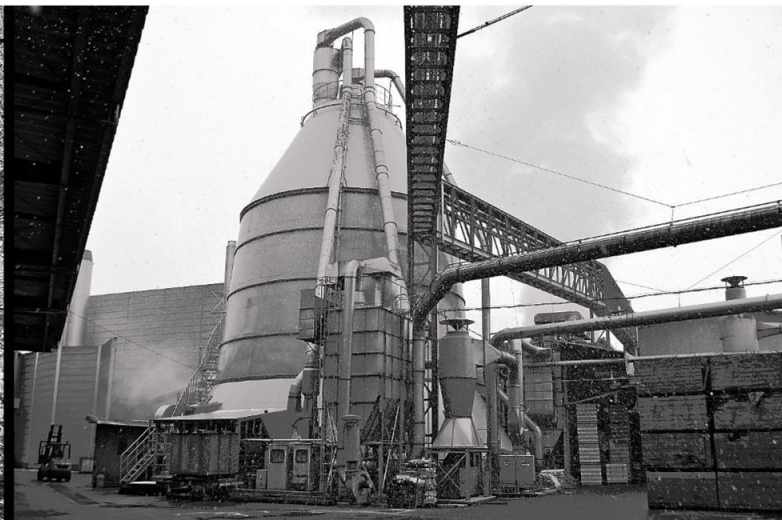


メガソーラー

【写真上】笠岡湾干拓地で稼働した岡山県内初のメガソーラー
 【同下】メガソーラー設置予定の岡山空港滑走路南側の斜面



木質バイオマス、小水力発電

【写真右】銘建工業が木質バイオマス発電に使う木くずの貯蔵庫【同左】岡山県鏡野町の養魚場で実証実験中の小水力発電装置

金融機関も普及支援

地場金融機関は、専門の融資制度を設けて再生可能エネルギーの普及を支援している。中国銀行（岡山市）は昨年8月、小規模も含め太陽光発電を対象に最長15年の長期融資制度を創設。これまでに約600件の相談が寄せられた。トマト銀行（同）の制度は、金利を所定より0.2%

優遇する。昨年9月以来約90件の問い合わせがあり、融資に結び付いた案件もある。広島銀行（広島市）は専門の審査ラインを設置。百十四銀行（高松市）は太陽光に加え、風力、中小水力発電などの資金ニーズにも応じる。水島、玉島（いずれも倉敷市）、吉備（総社市）の各信用金庫も太陽光発電向けの制度を導入している。（長田憲司）

再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度（昨年7月開始）を受け、岡山県内でも新たな発電ビジネスが活発化してきた。「晴れの国」の特性を生かしたメガソーラー（大規模太陽光発電所）、中国山地の森林資源を有効活用する木質バイオマス（生物資源）発電…。東京電力福島第1原発事故を機に原発依存社会のあり方が問われる中、岡山の豊かな自然が代替エネルギーを生み出す。（萩原聡）

岡山 新エネルギー

電力新時代

冬でも柔らかな日差しが注ぐ笠岡湾干拓地（笠岡市）。昨年12月、県内第1号となるメガソーラーが稼働した。道路沿いの細長い土地に太陽電池パネル7350枚を並べ、出力は1・75メガワット（1メガワットは千ワット）。一般家庭約500世帯分に当たる年間185万ワットの発電を見込む。太陽光発電システム販売のウエストホールディングス（HD、広島市）グループが建設し、発電電力の全量を中国電力（同）に売電。同HDの永島歳久専務は「瀬戸内は温暖で日照時間が長い。想定より多い発電量も予想される」と期待する。岡山県が把握する、県内で建設が計画されているメガソーラーは同干拓地を含め18件に達する。県も岡山空港（岡山市）に出力3・5メガワットの施設整備を予定する。県内での取り組みは現在、太陽光が中心だが、県新エネルギー推進室は「地域の特性に応じて、多様な電源開発が可能」と指摘する。林業の町・真庭市では、集成材メーカーの銘建工業（同市）が1998年に県内唯一の木質バイオマス発電設備（出力1・95メガワット）を整備。集材製造工程で出る木くずを燃やし、毎時20リットルの水を水蒸気に変えてタービンを回し発電している。

恵まれた自然生かす

銘建工業が市や真庭森林組合などと共同で、山林に放置された未利用木材を燃料とする大規模発電所（同10メガワット）の建設計画も昨年始動した。「固定価格での売電が20年保証されており、中山間地域に雇用創出のモデルを構築できる」と同社の中島浩一郎社長。水処理施設設計施工の川本（同）LPガス販売のつばめガス（同）と連携し、岡山県鏡野町の養魚場から出力1ワットの装置を設置。昨年11月から3月までの予定で実証実験を進めている。売電する規模ではないが、地域で使う電力を賄う「地産地消」のエネルギーとして3社での事業化を目指す。新エネルギーが将来、産業や暮らしをどれだけ支えてくれるのだろうか。今後の展望について、シンクタンク・中国地方総合研究センター（広島市）の本郷満地域経済研究部長は「代替電源として定着、拡大していくには、整備コストを削減する工夫や供給の安定性を高める技術が鍵を握る」と話す。

| 事業者 | 場所 | 出力(メガワット) | 稼働(予定) |
|---------------------|----------------|-----------|----------|
| ウエストホールディングスグループ | 笠岡市・笠岡湾干拓地 | 1.75 | 2012年12月 |
| 福山電業 | 浅口市・寄島干拓地 | 1.996 | 2013年 3月 |
| 三和鉄構建設 | 笠岡市・笠岡港寺間地区 | 1.98 | 2013年 7月 |
| 環境発電 | 玉野市・塩田跡地(田井) | 1 | 2013年 4月 |
| オリックス | 浅口市・寄島干拓地 | 1.99 | 2014年 1月 |
| 日本アジアグループ、山陽木材 | 浅口市・山陽木材所有地 | 2 | 2013年 3月 |
| ウエストホールディングスグループ | 矢掛町・育成牧場敷地内 | 4 | 2013年 3月 |
| 岡山県企業局 | 岡山市・岡山空港南側斜面 | 3.5 | 2014年 3月 |
| マーチャント・バンカーズ(旭シノゾル) | 津山市・ダイセル所有地 | 1.5 | 2013年 3月 |
| 合同会社岡山第一発電所 | 津山市・自社所有地 | 1.6 | 2013年 5月 |
| 茂山組(ソーラヴィレッジ) | 津山市・自社所有地 | 1.3 | 2013年 3月 |
| JFEソーラーパワー倉敷(仮称) | 倉敷市・JFEスチール所有地 | 6 | 2013年10月 |
| 旭電業 | 美作市・日本電産所有地 | 1.7 | 2013年 4月 |
| 環境発電 | 美作市・日本電産所有地 | 1.7 | 2013年 4月 |
| 久米南メガソーラー | 久米南町・旭電業所有地 | 2 | 2013年 5月 |
| パシフィコ・エナジー | 久米南町・旭電業所有地 | 30 | 2015年 3月 |
| ニューサイト | 新見市・哲多町内丘陵地 | 50 | 未定 |
| くにうみアセットマネジメントなど7社 | 瀬戸内市・錦海塩田跡地 | 250 | 未定 |

ズーム 固定価格買い取り制度 再生可能エネルギーでつくった電気を一定期間、決まった価格で電力会社に買い取るよう義務付けた制度。太陽光の場合、出力10キロ未満は10年、10キロ以上は20年にわたり、1キロ時当たり42円で売電できる。他の発電の価格は規模などで異なり、バイオマス13.65～40.95円▽水力25.2～35.7円▽風力23.1～57.75円▽地熱27.3～42円。期間は15年の地熱を除き20年。価格と期間はいずれも毎年度見直す。

